

# ケアセンターけやき

症 例 概 要 利用者：80代 男性 要介護2

病 名：脳梗塞、COPD、腎不全、胃潰瘍、十二指腸潰瘍  
高血圧症、心房細動、うっ血性心不全

経 過：ご本人がリハビリに積極的に取り組み、他の施設や人々からの支援もあって、筋力や体力が向上し、今では奥様と公園で野球を観戦できるようになり、ご家族と一緒に東北の実家に行って線香を供えることもできました。

## 内 容

---

ご本人は、R2年11月に脳梗塞を発症し入院治療を受けました。

R3年1月に退院後、訪問看護・リハビリの利用を開始しました。

ご本人は心不全、COPD（肺気腫）、腎不全、胃潰瘍の既往歴があります。

今回の入院により筋力や体力が低下し、食事量も減少しました。また、肺気腫により退院当初は歩行時に息苦しさや疲労感が強く、脳梗塞後遺症も重なり（右片麻痺）、歩行時に右足のすり足やバランス不良により長距離歩行が困難でした。

入院前は小学校の野球のコーチをされていて、野球観戦も好きでしたので、今後について、ご本人とご家族と相談して「公園に行き、草野球観戦をすること。」を目標に設定しました。他のサービスとも協業して、通所リハビリでは、機器を使った全身運動や歩行練習を行い、訪問看護・リハビリでは足のストレッチ、筋トレ、歩行時のすり足を減らすための動作指導を通じて能力向上を図りました。目標が決まったことにより、元来、意欲的な方であったため、少しずつではありますが、毎日の散歩を欠かさず行って頂けました。

ご本人が積極的にリハビリに取り組み、他事業所やケアマネージャー、ご家族の協力もあり、リハビリが順調に進み、筋力や体力が向上しました。現在はバスを使用してお家族と一緒に公園に野球観戦にも行けるようになりました。

また、長年行けてなかった東北の実家にも、ご家族と一緒にいき、線香を供えることができたことと喜んで話されておりました。

今後も訪問看護・リハビリや通所リハビリ等のサービス利用を継続して、ご本人とご家族が希望される生活を実現するために、心に寄り添いながら、より質の高い支援提供に取り組んで参ります。